

★ここで一回目の余興（抽選会：カードをそれぞれ引いて、その番号の賞品が当たる）

司会者がカードを持っており、参加者それぞれが1枚引きました。番号と同じ番号の賞品が手渡されました。賞品は予算が少ないので幹事の努力で100円ショップでの実用賞品を選んでくれました。例えば、キッチンばさみ・ピンセット・カラーペンなど。

賞品を受け取った参加者の喜んでる顔を見ると、金額ではなくそれを贈る人からの心のこもったメッセージではないかと思つづく感じました。

★デザートタイムで、バイキング会場から各人好きなケーキやアイスクリーム、更にコーヒーなどを取りに行きました。

★全員揃ったところで二回目の余興（ビンゴゲーム）

賞品は何がでるかわからなまま、ビンゴゲームがはじまりました。幹事から出た数字が読み上げられますが、参加者の皆さんは静かに静かに、自分のカードとにらめっこしています。かなり番号は出ているのですが、リーチの声もかかりません。やっと一人から「リーチ」の言葉がかかりましたが、その後がなかなか出ないうちに、林会長からリーチがかかり、あ〜っと言う間に、ビンゴになっていました。（賞品はお預けです）その後は徐々に「リーチ」の声がかかってきました。最初は初参加の與座さんが「ビンゴ」となり、賞品を受け取りました。賞品は「絵はがき2枚をA4木枠」に入れた縦を手渡しました。大変好評でした。続いて崎山さんが「ビンゴ」となり、同じく絵はがき縦を受け取りました。もう一つ林会長の一筆文字「歩」を書いた縦があり、それも欲しいという方があり、最後のビンゴ者に贈ることにしました。これは「願えば叶う」で、一番欲しいと言っていた平良さんが、「ビンゴ」となり見事縦を受け取る事となり、これ以上ないの笑顔で喜びを表していました。